

金屋子神話民俗館の閉館について

(議第67号 安来市鉄の歴史博物館条例の一部を改正する条例制定関係)

教育部文化財課

1. 概要

金屋子神話民俗館は、旧自治省のリーディングプロジェクトの指定を受け、旧広瀬町が建設を進め、平成5年に竣工しました。以降29年が経過し、施設の老朽化が進み、維持管理するとなれば将来大規模改修も必要な状況となっています。また、令和元年には土砂災害警戒区域等となりました。来館者数の低迷も続く中、令和3年度の公共施設等総合管理計画の見直しの中でも検討を行い、「閉館に向けて検討」という今後の方向性を整理したところです。

こうしたことから、令和4年度に金屋子神話民俗館を閉館し、日本遺産「出雲國たたら風土記」のゲートウェイ施設である和鋼博物館に主な展示物を集約し、通年で見学できるようにするとともに、構成文化財である金屋子神社や西比田の町なみへの人の流れをつくってまいります。

2. 施設の現状及び課題

(1) 現状

- ア 所在地：安来市広瀬町西比田213番地2（金屋子神社横）
- イ 開館時間：9時～17時（定休日-水曜日。冬季休館-12月～3月）

(2) 課題

- ア 来館者の低迷
 - ・令和3年度－717人（1日平均4人）
- イ 施設の老朽化
 - ・建築後29年が経過。将来大規模改修が必要な状況。
- ウ 災害リスク
 - ・現在の敷地が、土砂災害警戒区域（土石流）等に指定。

3. 今後の方向性

- (1) 金屋子神話民俗館を令和4年11月30日に閉館します。
- (2) 主な展示物は、日本遺産「出雲國たたら風土記」のゲートウェイ施設に位置付けられている「和鋼博物館」に閉館後から順次移転し、通年展示します。
- (3) 日本遺産の構成文化財「金屋子神社」に関わる説明板を駐車場に整備します。
- (4) 建物は文化財収蔵庫として活用します。